

# 令和7年度 運営方針

鹿児島県小中学校事務職員研究会  
会 長 北 原 健

今年度から矢島康宏前会長から会長職を引き継ぎました北原です。会員の皆様のご協力を得ながら、本会の円滑な運営ができるよう精一杯頑張らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

さて、毎年1月にある研究大会についてですが、カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）での研修は、普段の実務的な仕事とはちよつと違う、学校職員としての立場や役割を考えさせられる内容が多いと思います。これはなぜでしょうか。

実は鹿事研では、学校事務職員が学校運営における中心的な役割を担うべきだと考えているからです。校長、教頭を中心に事務職員も学校を回す役割を担うことで、学校現場が円滑に進むようになります。鹿事研のテーマ「学校の教育目標を実現し、子どもの豊かな学びを支援する学校事務」は、このような思いから設定されました。「つかさどる事務職員」「学校のトータルプロデューサー」など研究大会などで何度も聞いたことがある言葉だと思いますが、この意味を改めて考えてもらい、少しずつでもその内容を実践してもらうことで学校が変わり、子どもたちの学びが充実していくと考えています。

そうです、実践することが大事だと考えます。「これいい取り組みだな」と思ったことは、真似してみましよう！ 事務職員が変わっていくことで、学校もまた少しずつ変わってくると思います。

鹿事研は実務を蔑ろにしているわけではありません。活動の柱のもうひとつは、各専門部、委員会活動があります。「研究部」は研究、「研修部」は運営という研究大会へ向けての活動が主となります。「鹿児島県学校事務の手引編集委員会」の手引き（青本）は、私たちのバイブル的存在だと思います。「広報部」の広報誌「いぶき」は会員への情報提供、会員同士をつなぐ接着剤となり、OA研究推進委員会が計画している「Teams」を使用した連携システムが構築されれば、会員相互連携、情報共有が容易になります。これらは、私たちの仕事をタテ・ヨコ・ナナメでつないで日々の業務が効率的に進むことをめざします。

鹿事研は研究大会と専門部活動という大きな柱を中心に今年度も活動進めてまいります。会員の皆様のご協力あつての鹿事研ですので、いろいろとご指導、ご助言よろしくお願いいたします。そして活動に加わってみたい方がいらっしゃればご連絡ください。一緒に鹿事研活動を盛り上げていきましょう。

※ 令和8年7月30日（木）～31日（金）に全国公立小中学校事務職員研究大会（佐賀大会）が開催されます。九州地区で開催される全国大会では、九州・沖縄の各支部が分科会を持つことになっており、鹿事研も分科会を担当します。ぜひ、会員の皆様もご参加を検討してください。